

広報

ひがしの

194号

12月1日号

特集

知っておきたい東野のこと「東野開発振興会の一般会計」
秋の各種行事の振り返り

東野地域の詳しい予定をQRコードで見ることができます



東野の人口 1629人 男:830人 女:799人 661世帯

今年度4月1日との比較 総人口:+6 男:+4 女:+2 世帯数:+17

令和6年4月1日～令和6年10月30日の東野の出生数 男:2人 女:1人 (恵那市全体 121名)



スポフェスの動画を
ご覧いただけます。

5年ぶりに開催された「旧 東野ふれあい住民運動会」 10/27(土) 東野ふれあいスポーツフェスティバル

「東野はひとつ、みんな集まろまいか」を合言葉に東野自治連合会が主催

協賛は東野体育協会と東野開発振興会

来場者399名

各自治会が小さなテントの下
でお菓子や飲み物を囲んで秋空
の下で集う場がありました。中
にはお年寄りが漬物を用意した
り果物を持ち寄りたりして世間
話に花を咲かせていました。三
世代がそろって笑い声が絶えな
いところもありました。今年度
は住民運動会という名称を改
め、ふれあいスポーツフェスティ
バルとして、軽スポーツ（体を動か
す程度）を通して、各自治会が
集い、交流する場をつくること
を一番の目的に実施されまし
た。

貴重な 自治会単位で集える場



下染戸自治会



靴飛ばし

どの年齢
の誰もが
参加でき
ること、
見ている
人も楽し
いという
工夫が行
われてい
ました。

以前の
住民運
動会は
各自治
会単位
で出た
り当て
れ、選
手を集
めるこ
とが各
自治会
長や体
育推進
委員の
重い負
担とな
ってい
ました
。今年
度は今
までの
住民運
動会の
課題を
少しでも
解決で
きるよ
うにし
るため
に開発
振興会
や体育
協会の
代表が
5回の
会議を
重ねて
実施し
ました
。パン
食い・
靴飛ば
し・椅
子取り
・大抽
選会を
始め、



パン食い

種目や各自治会の割り当てを 大幅な見直し

全国的に町内運動会や住民運動会は衰退の一途を辿っています。恵那市でも同様です。少子高齢化が進み、運営側も参加する側も大きな課題を抱えています。誰もが地域のつながりやコミュニケーションは震災や何かがあったときに助け合わなければならぬので大切なことは分かっています。全国に目を向けてみると東野で今年度行った種目にプラスして「つながり」と「防災を学ぶ」運動会を行っているところがあります。

全国ではこんな運動会も



消防車と綱引き



人工呼吸障害物競走



水消火器の的あて



担架で人運びリレー



大雨の中でも282名の観客が集まった

11/2(土) 第26回 東野ふれあい音楽祭

優れた音楽家を招き、合わせて地元で活躍する音楽家やそのグループと

地元の小学校も参加する多様で楽しい音楽祭

観客数282名

季節外れの大雨でしたが、282名の観客を迎え、第26回東野ふれあい音楽祭が行われました。今年度は観客と一体になつてコンサートをつくっていく方向性をはつきりと表れていました。スイートボイスは客席に降りて、一人一人に歌いかける場をつくり、握手も数多く行いました。第3部では振付と一緒に行うシーンもあり、歌を聴くだけではなく、歌手と一緒に観客も東野ふれあいコンサートをつくり上げていました。午後1時から2時間半のコンサートでしたが、今年度は第3部まで多くの方が残っていました。

観客を巻き込んだ
プロのコンサート



Sweet Voice



サクソフォンサークル てんだり〜

プロの音楽を聴くだけではなく、東野ふれあい音楽祭が大切にしていくことは地元の音楽家や地元で学んでいる小学生などの発表の場をつくることです。今年度は土岐市のサックスアンサンブルサークルのてんだり〜がステージに上がりました。川合諒さんが先生で、あと生徒でした。東野ふれあい音楽祭の出发は東野公民館の大会議室で歌声の講座の発表や地元の楽器演奏をしてみえる方の発表という位置づけでした。この原点を大事にしなが一流の音楽を聴くことも大事に今後も開催する予定です。

地元の音楽家の
発表の場としての位置づけ

来年度の音楽祭には何人もの東野の音楽愛好者に出演していただくように計画します。



千藤恵理子さんのピアノ伴奏

会場の全体合唱では下沢の千藤恵理子さんが見事なピアノ伴奏をしました。東野小学校は観客全員に手作りの花を配って、一緒に振付を行い、観客に笑顔と元気を生み出す素晴らしい合唱を行いました。今年は本当の意味での「ふれあいコンサート」でした。



東野小学校の全校合唱



10月14日(祝)

東野歌舞伎に来場者350人



歌舞伎の動画をご覧いただけます。

全国では200の地歌舞伎の団体があります。その中で岐阜県は全国最多の32の地歌舞伎の保存会がありますので、全国の中でも地歌舞伎が継承されている地域です。岐阜県の隣の長野県でも地歌舞伎が盛んです。その長野県で2022年に地歌舞伎に関するアンケートを取っています。アンケート結果から地歌舞伎を行うことにより地域住民の58%の方が地域のコミュニケーションが促進されている。地域に必要と答えた方が53%となっていました。アンケートを分析すると地歌舞伎に興味のない方は、やっている方々が個人の趣味活動のような位置付けとしてとらえています。そのことから地歌舞伎の保存や継続の目的や意義を住民の半数が理解していないことが分かります。

会場設営に74名が参加

年に一度の東野歌舞伎を楽しみに会場に足を運んでみえる方がほとんどでした。地域活性化のため、東野歌舞伎を楽しむにしている方のために、出演する子供たちのために10月5日と10月11日の2日間合わせて74名の方が歌舞伎の会場設営を行いました。

江戸時代の寛政四年にはじまる

東野歌舞伎の記録が残っている最古は寛政四年です。西暦では1792年です。今から232年前になります。歴史では松平定信の寛政の改革を行っていた最終年です。舞台小屋である「恵東座(えとうざ)」は、それから58年後に建てられ、東野村の人たちの集いの場として村芝居

が続けられてきました。平成3年(1991)に保存会が結成され、幕間に、そのころの懐かしいエピソードを話していただきました。

楽しい思い出湧き出る

東野歌舞伎の名役者である三宅一嘉さん・伊藤宮夫さん・神谷正枝さん・土方千恵子さんの「おもいで あれこれ」のインタビュコーナーでは、懐かしい役柄の事やセリフの言い回しのことを語っていただき、今でもセリフをしっかりと覚えてみえました。



土方千恵子さん

神谷正枝さん

伊藤宮夫さん

三宅一嘉さん



受付やおひねりの販売、資料や
葉の配布、スタッフの弁当を用
意、駐車場での誘導など多くの人
数でやらないと仕事が回りませ
ん。みなさん、助けてください。



来年度の東野歌舞伎 裏方大募集!!

東野歌舞伎保存のためにみなさんのご協力をお願いします

今年は舞台や花道の設
営、片付けも含めて目標の
人数が集まりませんでした。
まずは設営と片付けや
大道具の移動などの手伝い
から東野歌舞伎の保存に協力
しませんか。



照明は4人は
必要ですが、今
年は2人でし
た。スタッフを
募ります。



音響もア
ナウンスも
住民の手作
りです。



以前は東野小学校の歌舞伎クラブの
保護者の方と歌舞伎関係者で舞台作
りと片付け、当日のスタッフを行う
ことができたが、少子高齢化が
進み、地域の皆さんで「東野歌舞
伎」を保存して行かないと伝統が途
切れてしまいます。この歌舞伎の
ページの冒頭でもふれましたが、一
部の方が趣味で行っている活動では
ありません。役者に興味がある方は
役者に、黒子に興味がある方は黒子
に、会場設営や片付けや大道具の移
動だけなら協力できるなど、まずは
できるところから東野歌舞伎の保存
にご協力をお願いします。



舞台転換に最低10人は必要ですが、今年は5人で行いました。天王
前にあった恵東座(えとうざ)の回り舞台でも10人は舞台転換にかかり
ました。幕間を短くするためにも舞台転換のためのお手伝いをお願いし
ます。黒子は2人でやりましたが、本当は5人は必要なんです。

**来年度から東野歌舞伎定期公演を11月第4日曜に開催することにし
ました。したがって令和7年度は11月23日(日)に開催します。**



知っておきたい 東野のこころ 東野開発 振興会の 今年度の一般会計

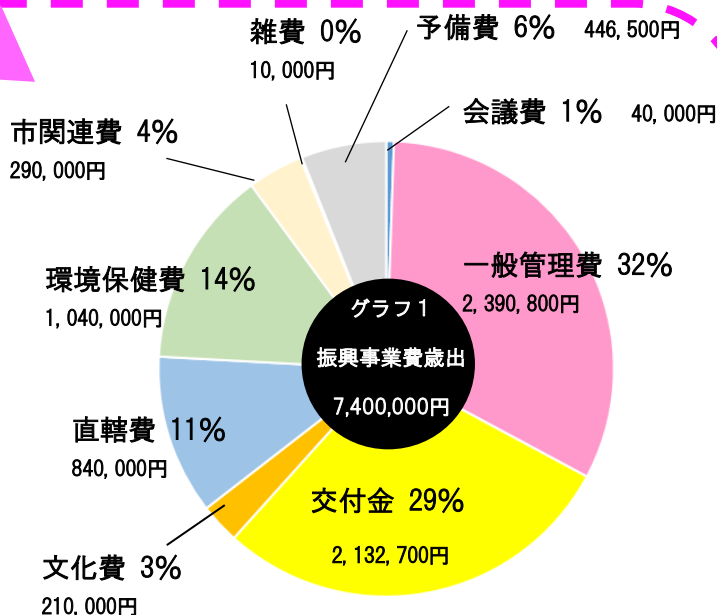
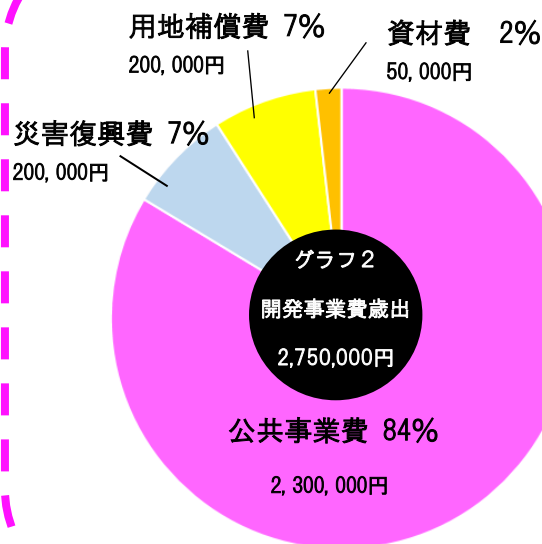
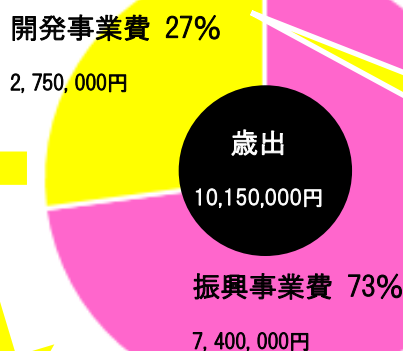
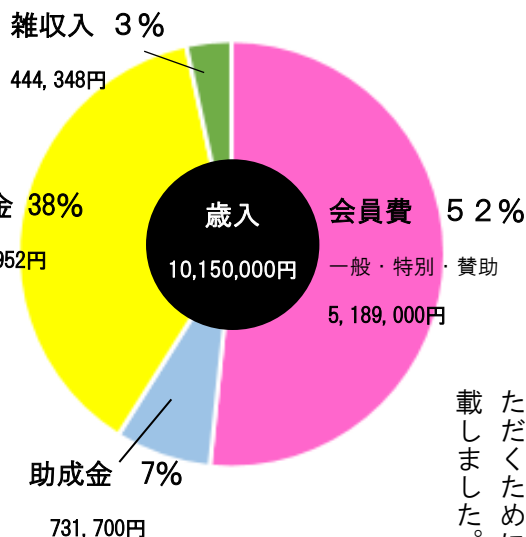
来年度予算を
 考える時期になりました

東野は自主・自立の道を
 歩み続けるために開発振興
 会を存続しました。これは
 様々な事業を恵那市の補助
 金を受けて行うには地元の
 負担金が必要になります。
 東野は県の職員や市の職員
 経験者が多く、一定のお金
 を地域で独自に持っていた
 方が、国や県や市の補助金
 を使って地域事業を進めや
 すいことが分かっていたか
 らだと言われています。

令和5年度の総会資料で
 示された資料をもとに東野
 開発振興会の歳入・歳出を
 円グラフで示しました。歳
 入と歳出の合計は1015
 万円です。住民の福祉や教
 育・文化・産業・体育の事
 業に73%、残りの27%
 を土地改良や土木建設・地
 域農政に歳出しています。
 振興事業費と開発事業費の
 内訳は下のグラフ1・2と
 表1・2で示しました。
 東野開発振興会の地域自
 治について関心を高めてい
 ただくためにこの記事を掲
 載しました。

開発事業とは、土地改良、土木建設、地域農政に関する事など、開発
 や生活環境に関する事項

振興事業とは、住民の福祉に関する事、教育・文化・産業・体力維
 持向上などの振興全般に関する事項



歳出の内訳

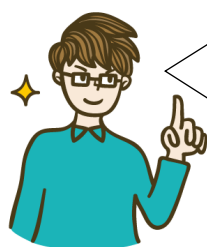
歳入の部 表1

会費	518万円
助成金	73万円
繰越金	378万円
雑収入	44万円

歳出の部 表2

一般管理費		交付金		文化費		直轄費		環境保健費		市関連費		開発事業費	
報酬	56万円	小幼PTA	20万円	文化祭	6万円	祭典費	24万円	街路灯	104万円	賃借料	25万円	災害復興費	20万円
賃金	82万円	消防団	80万円	ほたる祭	5万円	敬老会	55万円	合計	104万円	コミセン	4万円	用地補償費	20万円
交通費	7万円	体育協会	15万円	音楽祭	10万円	自主防災費	5万円			合計	29万円	資材費	5万円
需用費	15万円	社会福祉協	10万円	夏祭り	0万円	合計	84万円					公共事業費	230万円
借上料	23万円	社健東雲会	14万円	スポーツフェス	0万円							合計	275万円
通信費	3万円	民生委員	5万円	合計	21万円								
備品費	3万円	身障者協会	7万円										
積立金	40万円	遺族会	9万円										
交際費	10万円	青少年育成	8万円										
合計	239万円	郷土資料館	5万円										
		交通安全	0万円										
		自治連合	0万円										
		農振協	40万円										
		合計	213万円										

雑費	1万円	予備費	44万円	会議費	4万円
----	-----	-----	------	-----	-----



具体的な項目はこ
 の表を見よう。

※歳入・歳出の金額は千円以下は切り捨てて表示



歳入について

★会費 5,189,000円(歳入全体の52%)

東野に住んでいる1世帯あたり12,000円の会費と恵那山荘の特別会員会費やアパートからの賛助会員会費です。

★助成金 731,700円(歳入全体の7%)

慰霊祭、街路灯、敬老会、社協からの補助金です。

慰霊祭…遠族会より92,700円(900円×103柱)
街路灯…恵那市より330,000円(16,500円×20基)
敬老会…恵那市より247,200円(1,200円×206名) 社協より…61,800円(300円×206名)

★雑収入 444,348円(歳入全体の3%)

東野デポ(市の奨励金を含む)と阿木川湖畔の自動販売機からの収入と開発振興会名義のコピー機と印刷機を各種団体などが使用した時の印刷代です。

★繰越金 3,784,952円(歳入全体の38%)

急遽歳出しなければいけないことに対応するための金額を毎年同額で確保しています。

歳出について

振興事業費の歳出の中で分かりにくい科目だけ解説をします。



★一般管理費 2,390,800円(歳出全体の32%)

開発振興会の会長・副会長・理事・監事の報酬、事務員の賃金、会議の印刷代や開発振興会事務所のコピー機の借上げ料、生産森林組合の所有車の借上料や車を購入したり消防庫の修繕をしたりするための積み立て金になります。

役員報酬(一般会計)
会長128,000円(1名) 副会長72,000円(2名)
理事32,000円(7名) 監事32,000円(2名)
事務員賃金 1,001円/時間 72時間/1カ月

★交付金 2,132,700円(歳出全体の29%)

こども園の育友会、小学校のPTA、東野消防団、体育協会、壮健東雲会、民生委員、身障者協会、遺族会、青少年育成、農業振興協議会、交通安全東野支部、郷土資料館、自治連合会への交付金です。尚、令和6年度は交通安全協会東野支部と自治連合会への交付金はありませんでした。

★文化費 210,000円(歳出全体の3%)

6月のほたる祭、8月の夏祭り、10月のスポーツフェスティバル、11月の文化祭・音楽祭への助成金です。令和6年度は夏祭り・スポーツフェスティバルへの助成金はありませんでした。

★直轄費 840,000円(歳出全体の11%)

戦没者慰霊祭や開墾記念碑祭典や敬老会、そして防災の日の自主防災費などの東野開発振興会が直接開催するものです。

★環境保健費 1,040,000円(歳出全体の14%)

街灯をLED化するための費用です。(1基33,000円で恵那市より1基16,500円の補助があり、令和6年度は20基を交換しました。自動販売機と街灯の電気代も環境保健費から支出しています。)

★市関連費 290,000円(歳出全体の4%)

東野コミュニティセンターの一部土地賃借料、コミュニティセンターの花壇や室内備品や補修費などの費用です。

※ その他の7%は、予備費や会議費などです。



生産森林組合と東野小学校の林業体験の授業

金原明善が明治40・43年に東野に来て植林を勧めてから林業が盛んになり、昭和に入ってから林業で東野全体が栄えました。こうした歴史を引き継ぎ、東野生産森林組合が東野小学校の授業の一環として林業体験の授業を行っています。



前列左が金原明善(岐阜県で植林したときの写真(明治40年))



東野文化祭作品展・写真展に390名来場

コロナ禍明けの昨年度は出展作品も少なく、寂しい作品展になりましたが、今年度はふるさと写真展に51点・水彩画・油絵に55点・工芸21点・手芸6点・生け花5点、乳幼児から小中学校や施設などを合わせると844点の作品が集まりました。来場者も多く、390名が来場しました。



よっ!!日本一。東野こども園年長組!!

「問われて名乗るもおこがましいが、生まれは〇〇…」難しい言い回しの練習を重ねて授業参観で14名の園児が歌舞伎を保護者に披露しました。歌舞伎保存会の方から500点をつけてもらって園児も保護者も大喜びでした。歌舞伎のダンスも元気よく踊りました。この園児たちも小学校でも歌舞伎を学び、東野歌舞伎の伝統を引き継いでいくことを願っています。

2024東野ふるさと写真展結果発表

最優秀賞	ホテル舞う東野	安藤 秀美	串原
優良賞	東野夕景	吉村 緑	中津川市下野
優良賞	よっ!!日本一	三宅 あや子	中津川市阿木
優秀賞	春のダム湖	石田 裕道	三郷町
佳作	もみ焼き	足立 則夫	大井町
佳作	夕焼けの田を走る	吉村 緑	中津川市下野
佳作	黄金の田を走る	吉村 緑	中津川市下野
佳作	雪原を行く	吉村 清	中津川市下野
佳作	雪の中からこんにちは	丸山 文憲	東野

100名の方に投票をいただき、得票数の上位18作品が賞に入りました。入賞者の作品は次の195(2月号)で紹介いたします。

佳作	虹が見える阿木川湖	丸山 年道	東野
佳作	薄昏に映える電車	丸山 年道	東野
佳作	ダム湖底に現れた仲良し3石	西尾 敏博	東野
佳作	桜とあけてつ	永野 憲男	東野
佳作	田園地帯を走るあけてつ	寺村 秀守	大井町
佳作	東野の春夕焼け	川合 久司	中津川市苗木
佳作	田植え後のゴールデンアワー	川合 久司	中津川市苗木
佳作	天地桜花爛漫	川合 久司	中津川市苗
佳作	秋の装い	荻山 清和	中津川市茄子川